

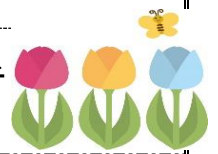


八小だより

武蔵村山市立第八小学校 令和4年3月1日

<http://www.city.musashimurayama.lg.jp/mmced8s/index.html>

- ◎ 考える子
- 思いやりのある子
- やりとげる子
- 礼を重んずる子



行動目標

わけをそえて話すことができる子
教室で話しているのは一人

コロナ禍の1年間を振り返る

校長 牧 一彦

校庭の梅の花が満開となりました。まだまだ寒い日もありますが、確実に季節は春へと向かっています。1月下旬から約1か月間、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、本校においても、連日数名の新規陽性者が報告されている状況です。しかし、保護者の皆様や子どもたちの努力のおかげで、学級内・学年内での感染の広がりは見られず、他地域や他校では連日のように報告されている「学級閉鎖」を回避することはできています。皆様の御理解と御協力に心より感謝申し上げます。現在も依然として予断を許せない状況は続いているようですが、この1～2週間は新規陽性者数が減少傾向に転じていることから、状況を注視しつつ、少しずつ通常の生活に戻していければと考えております。

緊急事態宣言とまん延等防止措置が繰り返し発出される中、始まった令和3年度。4月6日(火)に入學式を実施しましたが、新入生と保護者のみの参加で、短時間で行う式となりました。また、まん延防止等重点措置の期間中ではありましたが、4月23日(金)には全校できょうだい学級遠足を、6月下旬には尾瀬・日光移動教室(第6学年)を実施することができました。一方、9月に予定していた東京パラリンピック観戦は、残念ながら中止となりました。運動会は10月に実施しました。種目を制限し、午前中を2回に分けての分散開催でした。学芸会も密を避けるため、1学年2公演という形で実施しました。子どもたちはそれぞれの行事に生き生きと参加し、それぞれ大きな成果を挙げました。3学期に入ると、急激な感染者数の増大に伴い、再び多くの教育活動が制限され、本日に至りました。

そんなコロナに始まりコロナで終わる、本当に残念な1年間でしたが、「子どもたちの学びを止めてはいけない」という一心で、可能な限り通常の教育活動ができるよう最大限の努力をしてきたつもりでいます。長い人生の中ではわずか1年間かもしれませんが、小学校生活6年間の中の1年は、とても貴重な1年間です。学習においても、人間形成においても、この1年間の影響が少しでも軽減できるように、今後も努めていかななくてはならないと考えています。保護者・地域の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

さて年度末を迎え、学校では次年度に向けた教育計画を立てています。現時点で、ほぼ確定している変更点については、以下のとおりです。(詳細は2月～3月に配布の保護者会資料をご覧ください。)

<令和4年度教育計画の主な変更点(予定)>

1. 新教科「徳育科」の実施(令和4年度文部科学省教育課程特例校)

- ・次年度も本校独自の新教科「徳育科」の授業を、各学年で年間40時間実施します。

2. 運動会について(10月1日・土曜日実施予定)

- ・令和元年度まで行っていた第6学年の組体操は、安全上の理由により行いません。

3. 学習発表会(展覧会)について(11月25・26日実施予定)

- ・現時点では、展覧会(児童作品展)を本校体育館で実施予定です。

4. 児童の写真掲載(学校だより・学校ホームページ等)・テレビ取材等について

- ・写真掲載・テレビ放映等に御協力いただけるかどうかについては、年度当初に御提出いただく児童指導資料に確認欄を設け、御確認いただく予定です。

5. 校内のきまりの確認事項

- ・健康安全上の理由により登下校時は全員帽子(1・2・3年生は黄色帽子)を着用する。
→今後段階的に、入学時に購入の黄色の帽子を「校帽」として定着させていきます。

6. 携帯電話の所持等について

- ・携帯電話の校内への持ち込みは禁止です。(やむを得ない事情により持ち込む場合は、破損・紛失等の責任所在に関する誓約書の提出が、必要となります。)